

令和5(2023)年度(第7回)
輝く“とちぎ”づくり表彰



150
栃木県誕生150年
みんなで創る、未来のとちぎ

募集

取

組

事

例

NPO・ボランティア団体が地域課題の解決に向けて行う優れた社会貢献活動を、「輝く“とちぎ”づくり表彰」(栃木県知事表彰)として表彰いたします！

受賞した取組
★県ホームページで公表
★リーフレットに掲載

表彰式を行います！
★日程:11月8日(水)
※詳細は後日HP等で周知します。



応募
締切

令和5(2023)年
8月31日(木)
(当日消印有効)

応募
方法

自薦または他薦

応募書類に必要な事項を記入の上、郵送・持参またはメールにて御応募ください

目的

栃木県内において地域課題解決に向けて取り組まれている優れた社会貢献活動を表彰し、その重要性を広く周知することにより、社会貢献活動に対する県民の関心を高め、実践を促し、県民協働によるとちぎづくりを推進することを目的としています。

対象

次に掲げる要件をすべて満たす取組
①栃木県内に拠点を有するNPO等が主体となった取組であること。
②栃木県内で現在継続中の取組であること。(新型コロナウイルス感染症の影響により中止されているものを除く)
③行政機関からの委託による取組でないこと。

※令和4年度募集分からNPO等が**単独**で実施する取組についても対象となりました。
※NPO等には学生による団体(部活動やサークル等)も含まれます。

応募・
問合せ先

栃木県生活文化スポーツ部 県民協働推進課 協働・多文化共生室
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 (栃木県庁本館7階)
TEL.028-623-3422 FAX.028-623-2121
e-mail: kyodo@pref.tochigi.lg.jp

応募書類など詳しいことは、ホームページを御覧ください。

輝くとちぎづくり表彰

検索



令和4年度 輝く“とちぎ”づくり表彰 受賞事例

最優秀賞

【取組名】渡良瀬川源流域の森再生プロジェクト



春の植樹デー

- 取組団体
 - ・特定非営利活動法人足尾に緑を育てる会
- 取組の概要
 - ・足尾銅山の鉱毒の煙害等で荒廃した足尾の山の緑化活動を通じて水環境系を中心とした環境問題に取り組むとともに、渡良瀬川源流域地域の環境問題について考え、自然環境の健全化及び地域社会の伸展に寄与することを目的として活動。
 - ・これまで約21万人が約27万本植樹した。(R4.11時点)
- 受賞ポイント
 - ・平成8(1996)年から活動しており、官民協働により多くの植樹を実施した実績が高く評価された。
 - ・植樹と環境学習をともに行うことで、参加者が身近な環境問題へ目を向けるきっかけを作ったことが評価された。

優秀賞

【取組名】SDGsでこどもを応援

- 取組団体
 - ・特定非営利活動法人 栃木県こども応援なないろ
 - ・宇都宮海星女子学院中学校・高等学校
 - ・一般社団法人 栃木県若年者支援機構
 - ・タキヤ会議
 - ・特定非営利活動法人 フードバンクうつのみや
- 取組の概要
 - ・企業から食品の寄附を受け、子どもたち無償で提供する活動(朝ごはんカフェ、フードパントリーなど)の実施。
 - ・リユースランドセルの譲渡など、食以外の支援の実施。
- 受賞ポイント 企業や学校等との協働により食生活を支援するとともに、見落とされがちなランドセルや制服などの食生活以外の分野にも支援を拡げていることが評価された。



朝ごはんカフェの様子

【取組名】大柿地区の豊かな自然を守り・活かし次世代が活躍できる場所の創出

- 取組団体
 - 特定非営利活動法人 自然史データバンクアニマnet
- 取組の概要
 - ・野生鳥獣の被害が多い大柿地区で、地域の高齢化が進む中、学生や不登校児童・生徒とともに里山の整備を行い自然保護活動を実施。
 - ・毎月2回の森カフェ・生きもの調査隊の実施。
 - ・伐採木を利用した空き家のリノベーションを行い、店舗利用希望者や移住者へ提供。
- 受賞ポイント 里山整備や野生鳥獣の被害軽減のための活動を、地域の学生や不登校児童・生徒などの若い力を使い行っていることが評価された。



伐採木の活用(空き家リノベーション)

【取組名】ラジオで発信！多文化共生のまちづくり

- 取組団体
 - ・TABUWATA(タブワタ)
 - ・株式会社 宇都宮コミュニティメディア
- 取組の概要
 - ・宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」で外国人住民が主体的に関わり、防災情報等を多言語で発信。
 - ・ラジオ放送を通して、多文化共生へ興味を持つきっかけを作る。
 - ・外国人への情報発信や多文化共生に向けての相互理解の促進。
- 受賞ポイント 外国人住民が主体となり、コミュニティFMの番組作成・放送を行い、多文化共生の地域づくりに寄与した取組であることが評価された。



ミヤラジ収録時の様子